

まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	1	出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり
施 策	(1)	広域・滞在型観光の推進

現状と課題

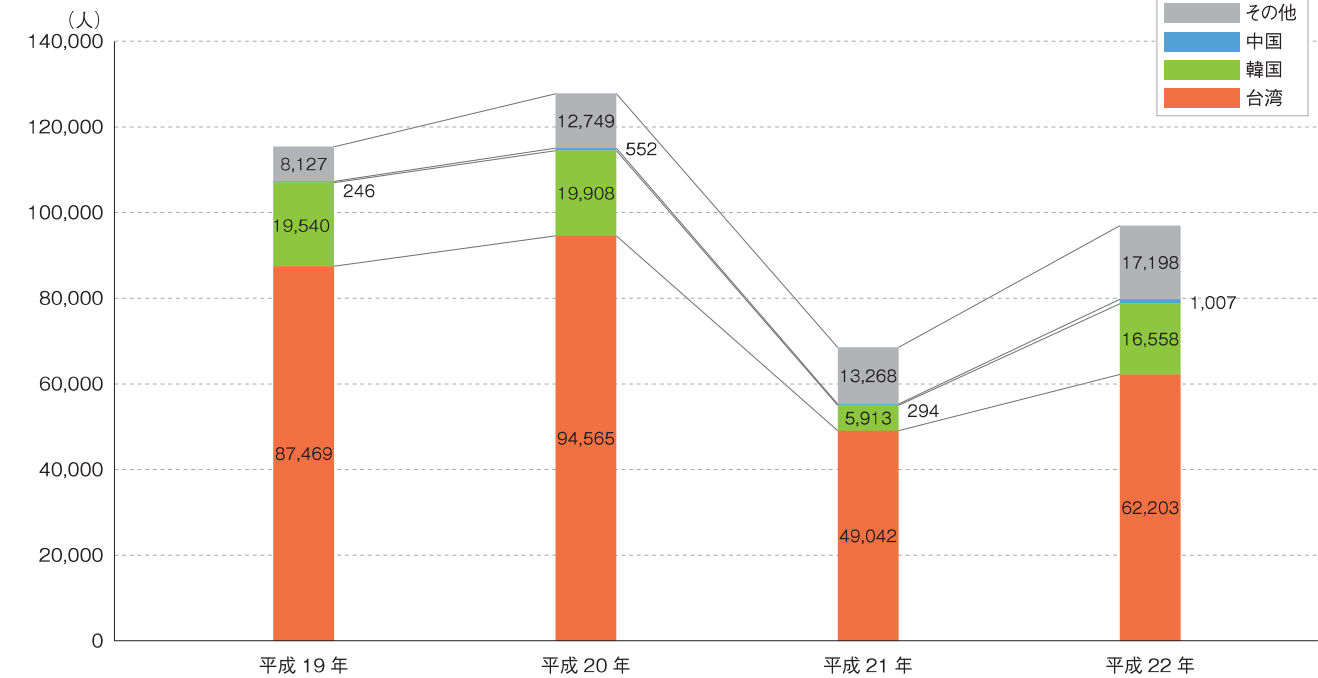
本市では、道路や鉄道、空港などの交通の基盤整備が進んでおり、今後も北陸新幹線などの高速交通網の整備により、国内外からの交流人口の拡大が期待されます。

このことから、立山黒部アルペンルートなどへの発着点としての役割に加え、隣接県などの観光地を周遊する

際の滞在拠点として選択されるよう、広域的な視点にたった観光施策の展開が必要となっています。

このため、周辺市町村との連携により、お互いの資源を活用・補完しながら滞在型観光に向けた環境の整備を推進する必要があります。

立山黒部アルペンルートの訪日団体観光客数



目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
観光庁観光客入込統計調査による宿泊者数	ホテル・旅館の延べ宿泊者数	広域・滞在型観光を推進し、ホテル・旅館の宿泊者について、10%の増加を目指す。	1,278,212人 (22年)	▶ 1,406,000人
外国人観光客入込数	富山空港国際線の外国人降客数	外国人観光客の誘致を進め、約50%の増加を目指す。	27,380人 (22年)	▶ 41,000人

後期基本計画(各論)

Ⅳ 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

■施策の方向

①北陸新幹線の開業を見据えた広域観光の推進

北陸新幹線の開業の効果がより高められるよう、近隣の観光地を巡るゲートウェイとしての役割を担っていきます。

また、北陸新幹線の開業を見据え、広域観光都市の連携について検討を進めます。

②富山らしい滞在型観光の推進

ぶり街道推進協議会やJAPAN ALPS広域観光都市連携会議などの広域観光推進組織と連携を図りながら周辺観光地を含んだ魅力的な周遊モデルルートを構築し、広域滞在型観光の推進に努めます。

また、北陸新幹線開業を見据えて本市の観光の将来像や施策の方向、さらには実践的な取り組み内容を明らかにして施策を展開し観光の推進を図るため、新たなプランを作成します。

③外国人観光客の誘致促進

外国人が安心して滞在できる都市としての魅力を高めるため、外国語表記の案内板や外国語パンフレットの充

実、観光ボランティアへの外国語会話研修の実施、宿泊施設での外国語テレビ放映機器の整備に対する支援などによる受け入れ環境の整備を図ります。

また、外国人に人気の高い立山黒部アルペンルートのPRに努めるとともに、本市での滞

在時間を延ばすために、市内宿泊者への路面電車利用券の配布や、魅力的な観光資源の情報発信を行います。



■市民に期待する役割

*観光ボランティア活動に参加し、国内外の観光客に対して案内を行う。

*観光関連事業に携わる人々は語学力の向上に努める。

■総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
観光実践プランの策定		プランの見直し
外国人観光客誘致促進事業	外国語表示案内板の設置	外国語表示案内板の設置 外国語観光パンフレットの作成



新幹線駅舎（富山駅南口）イメージ図

まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	1	出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり
施 策	(2)	観光資源のネットワーク化の推進

現状と課題

本市には、海や山岳、河川、森林など、四季ごとに豊かに彩られる自然や、それぞれの地域で育まれてきた伝統文化や芸術、祭りなどがあります。また、八尾曳山展示館、北前船廻船問屋森家、売薬資料館など地域の歴史を物語る施設、美しい都市空間などの観光資源が点在しています。

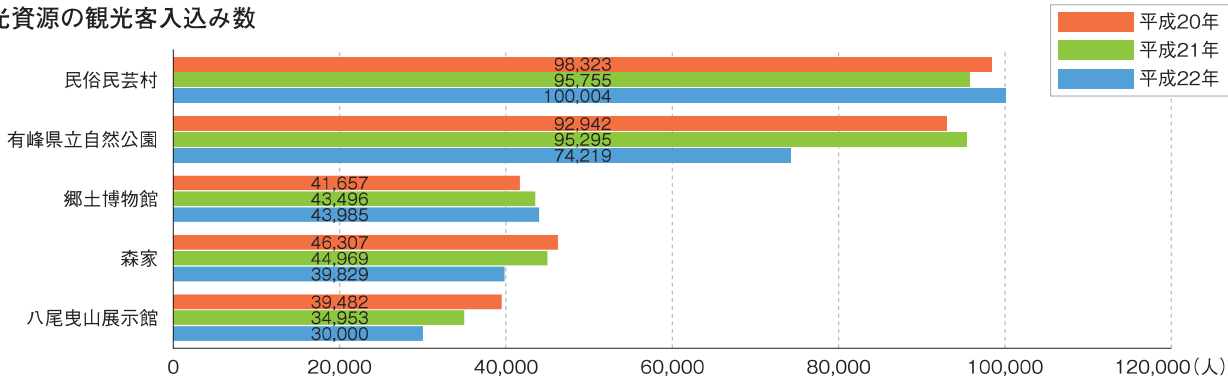
一方、市内にあるスキー場については、スキー人口の減少に伴い経営が厳しくなっており、経営の改善が必要

になってきています。

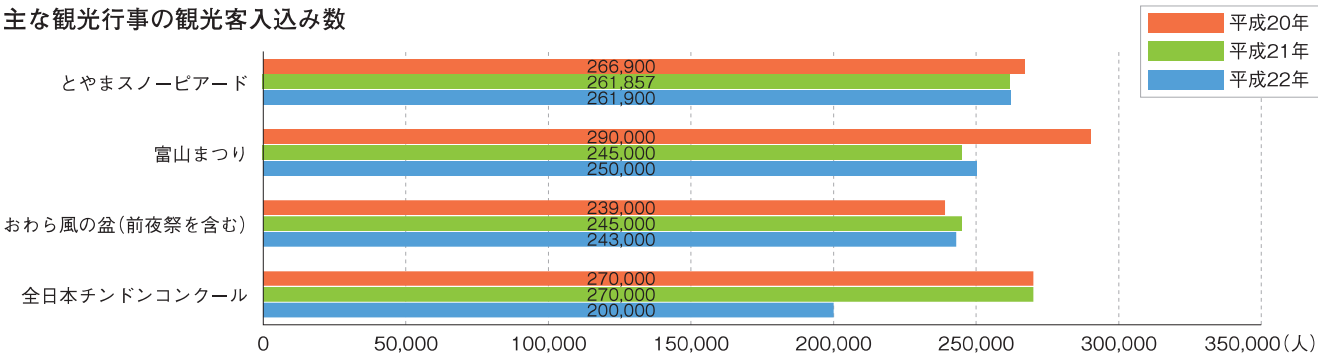
今後は、これら個々の観光資源について魅力を高めながら、季節別・テーマ別に連携させることにより、通年型観光を促進する必要があります。

また、点在する観光資源を公共交通機関やアクセス道路で効率よく結ぶとともに、充実した観光情報を発信するなど、観光地としての基盤の確立と利便性を高める必要があります。

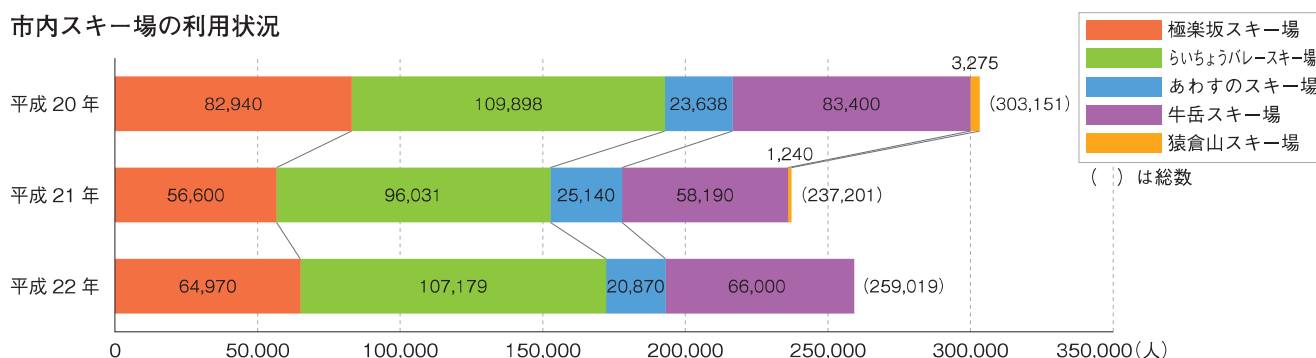
主な観光資源の観光客入込み数



主な観光行事の観光客入込み数



市内スキー場の利用状況



目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
スキー場入込客数	市内スキー場の入込客数（立山山麓、牛岳温泉、あわすの）	スキー人口が減少する中で、各スキー場の魅力を高め、現状維持を目指す。	259,019人 (22年)	260,000人
グリーンシーズン入込客数	立山山麓スキー場のグリーンシーズン入込客数	グリーンシーズン活用策の推進に努め、現状より増加を目指す。	23,802人 (22年度)	30,000人
温泉施設利用客数 (再掲Ⅲ-1-(2))	市内の主な温泉7施設の年間利用者数（古洞の湯、ウィンディ、ゆうゆう館、楽今日館、牛岳温泉健康センター、大長谷温泉、白樺ハイツ）	滞在型観光を進め、現状より増加を目指す。	863,785人 (22年)	865,000人

施策の方向

① まちなか観光の推進

観光の拠点となる中心市街地の再整備により魅力を高め、まちの賑わい創出に努めるとともに、城址公園や松川・いたち川の整備・活用などにより人々が滞留できる空間形成を図り、まちなか観光を推進します。

中心市街地の飲食・観光・イベント等に関するさまざまな情報を広く発信するとともに、観光客の利便性向上や受入態勢を充実させ、まちなか観光を推進します。

② 地域の観光資源のネットワーク化による魅力の向上

さまざまな交通手段を利用して訪れる観光客が、目的地まで快適に移動できるよう交通網の整備に努めます。

また、点在している観光資源の情報を整理し、季節別・テーマ別に構築した観光ルートの情報提供・発信に努めるとともに、富山ならではの地域ブランド（食、自然、くすり）と合わせ、健康志向や癒しの情報発信にも努めていきます。

さらに、観光客をひきつける観光パンフレットを作成し、配布することにより、観光情報の発信に努め、多く



の人々が本市を訪れ地域の賑わいが創出されるよう努めます。

③ スキー場と温泉施設等との連携

スキー場については、温泉施設との連携による利用者の増加や、トレッキング、森林セラピー基地認定などの活用によるグリーンシーズンの活性化を図ります。

市民に期待する役割

- * 観光イベントに積極的に参加する。
- * 折に触れて市の観光資源を紹介する。

総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
立山山麓活性化事業	トレッキングコース等の整備	遊歩道の整備、アドベンチャー施設の拡充など



まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	1	出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり
施 策	(3)	富山ブランドの発掘・発信

■現状と課題

富山には、「くすり」や「ますの寿し」など、全国的に有名な商品や、「おわら風の盆」など著名な伝統文化があり、これらは確立された富山のブランドといえます。

地域ブランドの育成に資するため、平成18年に地域団体商標制度が創設され、平成22年度現在、「富山名産昆布巻かまぼこ」をはじめ、6品が登録されています。また、団体商標には、「富山のくすり」が登録されていますが、北陸の他県の登録よりも少なく、地域全体としてのイメージの好感度や知名度は、まだまだ全国的なものとして確立していない状況です。

そのため、地域イメージの向上には、市民一人ひとりが富山の特産品の良さを認識し、暮らしのあらゆる場面で利活用し、PRしていくことも大切です。このことから、これら特産品の商品価値をさらに高める工夫をしながら、

富山市の特産品一覧

区分	主な特産品
水産物・水産加工物	かまぼこ、ほたるいかの沖漬け、いかの黒作り、白えびの刺身、イワシやアジのみりん干し、塩乾物 など
農産品・農産加工品	富山米、呉羽梨、朝日すいか、池どりんご、富山トマト、いちじく、自然薯、らっきょう漬け、山菜加工品、啓翁桜、水橋カラー など
各種食品	ますの寿し、みょうが寿し、八尾そば など
工芸品・民芸品	ガラス工芸品、富山木象嵌、越中八尾和紙、とやま土人形 など
その他	配置用医薬品、薬膳、地酒・地ビール・地ワインなどの酒類、地元産の食材を使った菓子類 など

周知啓発に努め、さらに魅力ある特産品等の発掘と販路拡大に取り組む必要があります。

■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
「富山やくぜん」認定料理の品目数	「富山やくぜん」の認定基準を満たした料理の品目数	富山市内の飲食業関係団体への周知に努め、事業開始年度予定数の倍増を目指す。	25品目 (23年度1回目認定数)	50品目

■施策の方向

①富山のイメージを高めるブランド化の推進

市民が富山ブランドの良さを再認識し、誇りをもって全国に自慢できるよう市民への意識啓発に努めます。

県内外で開催される各種イベントや、物産展などの機会を捉えて富山の認知度とイメージの向上に努めるとともに、くすりに関する情報発信の拠点となる施設などの整備について検討します。

また、本市のイメージ向上策として原動機付自転車にご当地ナンバープレートの導入について検討します。

特産品の生産者に対しては、商品などの高付加価値化や高品質化、差別化を図るための研修会を開催し、販路

拡大に向けた取り組みを支援するとともに、富山のガラスなどの特産品の魅力を観光客をはじめ、全国に発信できるように意識啓発に努めます。

地域農林水産物のPRをさらに進めるとともに、加工品の開発販売等を支援し、農林漁業の振興と魅力ある富山の食のブランドづくりに努めます。

さらに、地域経済の活性化と特産品製造事業者の市場競争力を高めるため、海外で開催される展示会等への本市特産品の出展を支援し、PR及び販路開拓に努めるなど、富山のイメージを高めるブランド化の推進に取り組みます。

市民に期待する役割

＊市の特産品の魅力を認識するとともに、折に触れて紹介する。

総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
商品力向上支援事業	富山ブランド講習会の開催	富山の物産の商品力向上を図るセミナーの開催
富山の物産魅力発信事業	富山ブランド市の開催	事業の継続実施
くすり関連施設整備事業	展示資料調査	基本設計・実施設計等 「くすり関連施設」建設工事



後期基本計画（各論）

Ⅳ 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	1	出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり
施 策	(4)	コンベンションの振興

■現状と課題

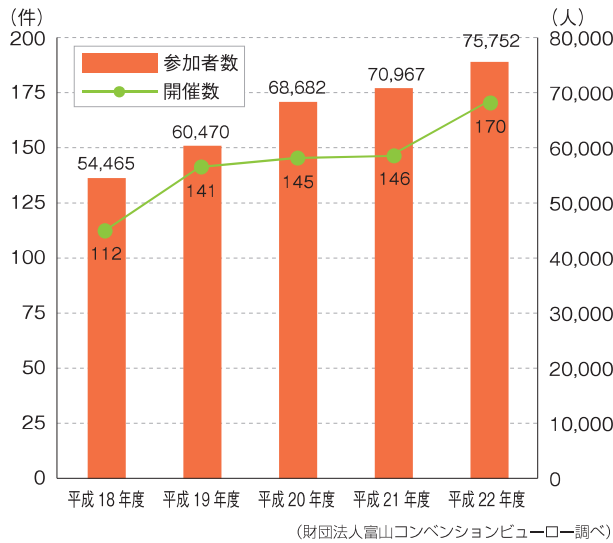
本市には、富山国際会議場、富山市芸術文化ホール（オーバードホール）、富山県民会館などの大規模な会議などができるコンベンション施設があり、中でも中心的役割を担う富山国際会議場は、メインホール、大型スクリーン、6カ国語同時通訳設備などにより、国際的な会議に対応できるものとなっています。また、近隣には、ホテルや飲食店が集積しており、富山大手町コンベンション(株)や、(財)富山コンベンションビューローとの連携により、大学や各種団体を訪問するなど、コンベンション情報を収集し、誘致に努めています。

市民によるコンベンションボランティアは、会議場で

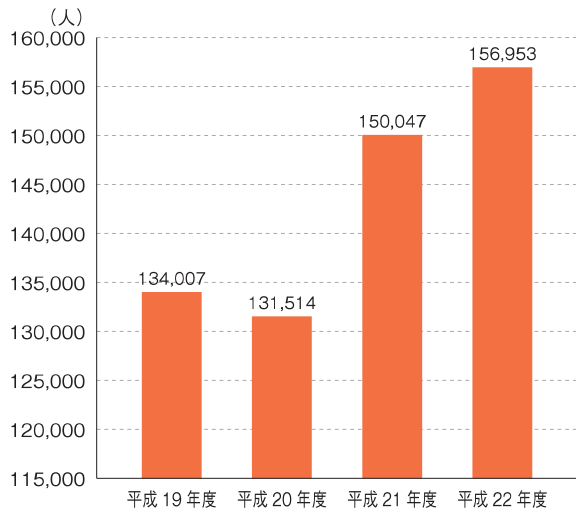
の受付業務補助などの会議支援や、会場内での通訳、観光案内などを行い、コンベンションが円滑に開催できるよう主催者を支援しています。また、国際会議場でのコンベンション開催の際には、民間において物産販売のサービスを行っています。

会議参加者を本市のリピーターとするためには、参加者が市内を観光し、地元の料理を味わい、特産品を購入するなど、富山を楽しんでいただくことが大切です。そのためには、アフターコンベンションの充実が必要となっています。

県内のコンベンション開催状況



富山国際会議場入場者数



■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
コンベンション開催数及び参加者数	県外参加者が本市で延べ100泊以上するコンベンションの開催数及び参加者数	コンベンションの誘致を進め、開催数を毎年2件増加することにより、参加者数の増加を目指す。	開催数72件 参加者数50,841人 (22年度)	開催数82件 参加者数62,000人

■施策の方向

①コンベンション誘致の推進

コンベンション開催補助制度など各種支援制度をPRするとともに、富山大手町コンベンション(株)や財富山コンベンションビューローとの連携の強化や、コンベンション施設間の連携強化を図る取り組みを進め、コンベンション誘致に努めます。

また、宿泊事業者とも連携しながら、本市への合宿誘致の推進に努めます。

さらに、コンベンションの国際化に対応するため、人的ネットワークの強化を図りながら、国際コンベンションの開催支援に努めます。

②アフターコンベンションの充実

会議参加者に富山を楽しんでいただくため、各種団体や市民と行政が連携した、おもてなしの体制づくりに努めます。

また、アフターコンベンションでの観光を充実するた



め、飲食情報や特産品の紹介など、四季折々の旬の情報提供に努めるとともに、観光タクシー料金の助成や路面電車利用券の配布を行うことで県内観光地の回遊性の向上を図ります。

■市民に期待する役割

- *おもてなしの心をもって、コンベンションに参加した来街者と接する。
- *富山コンベンションビューローが運営するコンベン

ションボランティアに登録し、コンベンション参加者との交流活動に取り組む。



まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	1	出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり
施 策	(5)	おもてなしの心の醸成

■現状と課題

本市では、ホテルや旅館などの関係団体と連携し、これらの従業員、タクシー運転手など観光客と接する機会の多い職業の方々を対象に、接遇や施設・特産品の情報、簡単な外国語会話の習得に取り組んでいます。

また、本市には、観光ボランティアガイドや、会議の支援を行うコンベンションボランティアなどのグループ

により観光客へのおもてなしが実践されています。

今後は、観光の国際化や北陸新幹線の開業などで、国内外から多くの観光客が訪れることが期待されるため、観光客を受け入れる体制の充実と、意欲的におもてなしの活動ができる人材の育成と確保が必要となっています。

観光ボランティア団体等一覧

区分	団体名	活動地域
観光ボランティア	紙ふうせん	富山地域
	岩瀬案内グループ	
	うれの会	大山地域
	越中八尾風の案内人	八尾地域
	婦中町観光ボランティア	婦中地域
コンベンションボランティア	財団法人富山コンベンションビューロー	県全域



■施策の方向

①市民ぐるみでもてなす心の醸成

市民全体がおもてなしの心を持って観光客に接することが観光客の満足度向上につながり、富山のファンやリピーターの獲得に大切なことから、市民がそれぞれの地域において、得意な分野で活動しやすい環境の整備に努め、市全体で観光客をもてなす気運の醸成を図ります。

また、観光客と接する機会の多い人々向けの観光ガイドマニュアルを作成し、本市の観光への理解を深めても

らいます。

また、今後、増加が予想される外国人観光客への対応に備え、観光産業関係者や観光ボランティアを対象とした研修を支援するとともに、異文化の慣習への理解や、外国語会話の習得など、研修内容の充実に努めます。



■市民に期待する役割

- * おもてなしの心をもって観光客と接する。
- * 観光関係者は、本市の観光についての知識を深めるとともに、接遇などについて資質の向上に努める。

■総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
観光サポーター研修事業	観光サポーター研修事業の実施	事業の継続実施、ガイドマニュアル作成

まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	2	個性豊かな文化・歴史を守り育てるまちづくり
施 策	(1)	伝統的文化・文化遺産の保全、活用

現状と課題

本市にはおわら風の盆や八尾曳山祭り、熊野神社の稚児舞などの伝統芸能や、とやま土人形や富山木象嵌、越中和紙などの伝統工芸品があります。

これら、それぞれの地域の歴史と生活に培われた伝統は、関係者の高齢化などによって担い手や後継者が減少しており、伝統文化の継承のための対策が必要となっています。

また、岩瀬地区や八尾地区の歴史的なまち並みなど、地域の歴史や文化を語る貴重な資源を保全するとともに、情報を活用し、まちの活性化につなげていくことが必要となっています。



富山市内の国指定文化財一覧

番号	種 別	名 称
1	建造物	浮田家住宅（主屋・表門・土蔵）
2	建造物	旧森家住宅
3	建造物	富岩運河水閘施設（中島閘門）
4	建造物	白岩堰堤砂防施設
5	絵 画	絹本著色法華経曼荼羅図
6	彫 刻	木造十一面観音立像
7	彫 刻	木造聖観音立像
8	書 跡	仏祖正伝菩薩戒教授文
9	考古資料	境A遺跡出土品
10	考古資料	硬玉製大珠（富山県氷見市朝日貝塚出土）
11	有形民俗文化財	富山の売薬用具
12	無形民俗文化財	越中の稚児舞（熊野神社の稚児舞）
13	史 跡	北代遺跡
14	史 跡	直坂遺跡
15	史 跡	王塚・千坊山遺跡群
16	史 跡	安田城跡
17	特別天然記念物	薬師岳の圈谷群
18	天然記念物	真川の跡津川断層
19	天然記念物	猪谷の背斜・向斜
20	天然記念物	横山楡原衝上断層

施策の方向

①伝統文化等の保存・継承への支援

地域に残る伝統的な行事に対して支援制度を整備し、伝統文化の後継者となる人材の育成や伝統芸能の保存・継承に努めます。

学校において、それぞれの地域について調べることなどを通じて、地域や伝統文化などに対する愛着心を高めます。

さらに、先人の残した本市の伝統工芸品の良さを広く市民にPRするとともに、富山木象嵌技術講習会の開催や関係団体の活動に対して支援し、後継者の育成や技術の継承に努めます。

②伝統的なまち並みの保全と活用

地域の活性化を図るため、風情ある伝統的な家屋を修

景し伝統的なまち並みの形成を進め、観光資源としての活用に努めます。

また、歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を、文化財として保存・活用することを目指します。

さらに、特色あるまち並みの創出を図るため、景観や雰囲気を損なう建築物や広告物などの抑制に努めます。

③文化遺産等の保全と活用

市内の多様な文化財の実態を把握するために、市全体の文化財を調査するとともに、史跡や建造物周辺に遊歩道や案内標識などを整備することにより、観光資源としての活用を図ります。

また、中心市街地の歴史遺産を、市民とともに調査研究します。

さらに、史跡王塚・千坊山遺跡群については、計画的に保存整備を図ります。

④地域固有の文化資料等の電子化

図書館が所蔵する貴重な資料の電子化を推進し、ホームページ等を通じて情報発信に努めます。また、地域固有の文化資料の収集を行い、地域情報のデータベース化を図ります。



■市民に期待する役割

*文化財を愛護する心、ふるさとを愛する心を育む。

*地域の伝統行事に参加する。

■総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
文化遺産等保存活用推進事業	岩瀬地区文化財案内板の設置 岩瀬地区歴史資料・建造物調査	廻船問屋建造物活用整備・運営 重要文化財建造物保存修理
史跡王塚・千坊山遺跡群保存事業	千坊山遺跡（一部）、六治古塚墳墓（一部）の公有化	史跡の公有化 史跡への誘導看板設置など
歴史的まち並み修景等整備事業 (再掲Ⅲ-1-(3))	伝統的の家屋及び一般建築物などの修景、 空家活性化事業	事業の継続実施



まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	2	個性豊かな文化・歴史を守り育てるまちづくり
施 策	(2)	新たな芸術文化の発信

現状と課題

本市では、ガラスをテーマとした政策をまちづくりの柱のひとつとして、ガラス工芸に携わる人材の育成、産業化の推進、芸術の振興という3つの観点から、さまざまな取り組みを行ってきました。これらの結果、新しい産業並びに芸術文化として富山のガラスが広く市民等の間に浸透してきています。

今後は、「グラス・アート・ヒルズ富山」におけるガラス造形研究所、ガラス工房などのガラス関連施設や、中心市街地に整備されるガラス美術館を充実させるとともに、それらを相互に連携させ、一体となってガラスの街

づくりを推進することにより、「ガラスの街とやま」のイメージのさらなる定着を図る必要があります。

一方、グラフィックデザインやパッケージデザインなど、本市に根付く商業デザインは全国的にも高いレベルにあることから、今後さらにデザインの振興を図るとともに、一般市民・企業に対する普及啓発に努める必要があります。

また、地域に潜在している芸術・文化資源の発掘に努め、新たな芸術文化として、発展の可能性を検討する必要があります。

富山ガラス造形研究所卒業生進路一覧

進 路 先		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
進 学	研究科	2	2	2	2	2
	その他(留学)	0	1	3	4	4
就 職	富山ガラス工房	0	1	0	0	1
	ガラス関係会社	2	2	0	2	0
	公立工房	1	2	1	1	1
	個人工房(独立含む)	8	6	5	3	1
	教育関係	0	0	2	0	1
そ の 他		6	5	6	5	7
合 計		19	19	19	17	17

富山ガラス工房の利用状況

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入 館 者 数	46,746	51,636	61,737	57,559	63,132
1 日 平 均	137	143	172	161	176
吹きガラス等体験者数	4,024	5,462	6,697	7,165	7,813

デザイン業 事業所数、就業者数及び年間売上高(北陸三県抜粋)

	富山県	石川県	福井県
事業所数(社)	58	82	54
就業者数(人)	208	224	115
年間売上高(百万円)	1,420	1,303	649

(平成21年特定サービス産業実態調査)



目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
ガラス文化に触れた人々の総数	現・新ガラス工房とガラス美術館の入館者数	新ガラス工房やガラス美術館の整備により、約2倍の増加を目指す。	63,132人 (22年度)	125,000人

施策の方向

①新たな芸術文化の創造への支援

異業種交流によるガラス工芸の新しい表現領域の開発や、溶融スラグを用いた新素材ガラスの研究開発、作家への設備貸出機能を備えた創作工房の充実など、産業化の一層の推進やガラス作家の定着促進に向けた支援に取り組めます。

また、制作体験やイベント機能を充実させた新ガラス工房、ガラスの街とやまの中核施設としてのガラス美術館など、ガラス文化の拠点の整備を図り、新たな芸術文化の創造に努めます。

②デザインの普及とデザイン活動への支援

デザイナーの資質向上や人材の育成のため、若手デザイナーや、デザインを学ぶ学生などの活動を支援します。また、ポスターギャラリーでのパネル展示や、デザインサロン富山での特別企画展、富山デザインフェアなどの開催、さらには、魅力あるイベントポスターの選定など、市民が商業デザインを身近に感じることができるよう工夫することで、商業デザインの振興や一層の普及啓発に努めます。



新ガラス工房完成イメージ図



市民に期待する役割

- * ガラス工房が実施する制作体験事業へ積極的に参加する。
- * ガラス美術館が実施する展覧会や普及事業へ積極的に

参加する。

- * 商業デザインへのさらなる理解を深める。

総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要(24～28年度)
ガラスの街づくり事業	新ガラス工房の整備 ガラス美術館の整備 ストリートエリア運営	新ガラス工房の整備・運営 ガラス美術館の整備・運営 ストリートエリア運営
富山デザインフェア開催事業	富山デザインフェアの開催	事業の継続実施

まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	2	個性豊かな文化・歴史を守り育てるまちづくり
施 策	(3)	市民の芸術文化活動への支援

現状と課題

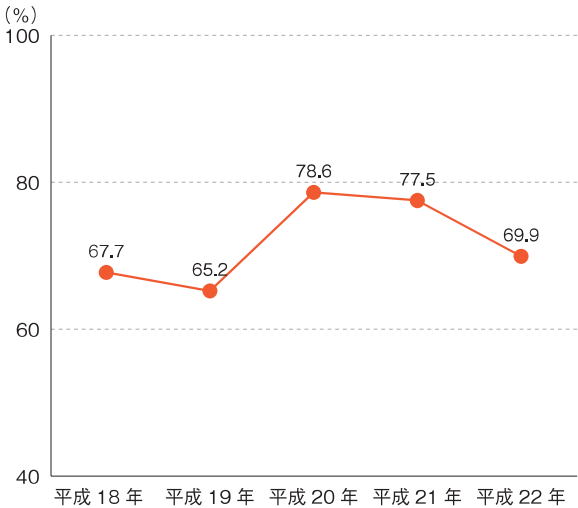
心豊かな暮らしを実現するため、市民の創作活動への支援や、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供が求められています。

また、本格的に芸術作家を目指している人から、趣味として芸術文化活動を実践している市民まで、それぞれ

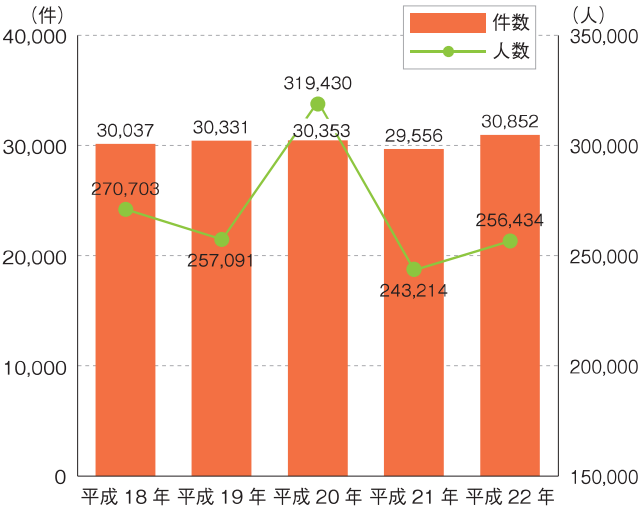
の活動に応じた発表・鑑賞の場を提供し、芸術文化の発展につなげることが重要となっています。

さらに、次代の芸術文化を担う子どもたちに、芸術文化に触れる機会を提供することが重要となっています。

富山市芸術文化ホール年間稼働率



富山市民芸術創造センター利用状況



年度	舞台稽古場		リハーサル室		大練習室		練習室		舞台美術製作室		アトリエ		研修室		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
18	393	38,378	479	34,987	4,874	121,613	23,707	69,868	197	2,415	101	1,372	286	2,070	30,037	270,703
19	380	37,182	426	25,171	4,863	121,050	24,175	69,793	127	1,308	107	695	253	1,892	30,331	257,091
20	360	73,225	421	28,670	4,928	118,363	24,005	66,837	192	30,230	144	418	303	1,687	30,353	319,430
21	338	28,614	395	24,898	5,106	121,043	23,119	64,514	163	603	192	1,548	243	1,994	29,556	243,214
22	333	27,858	413	27,458	5,308	128,911	24,125	68,756	119	356	269	1,148	285	1,947	30,852	256,434

目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
主催公演の入場者率	主催公演における入場可能座席数に占める入場者の割合	多様で質の高い芸術文化公演を提供し、6%の増加を目指す。	64% (22年度)	70%

■施策の方向

①優れた芸術文化に親しむ機会の充実

市民が芸術文化に親しむ機会を拡充するため、富山市芸術文化ホールなどでの芸術文化事業の情報提供に努めます。

また、市内の各地域にあるさまざまな文化ホールの効率的な利活用を図るとともに、専門性の高い公演等の企画運営を一元化することで、質の高い文化事業の提供に努めます。

②地域の芸術文化活動拠点の充実

市民が気軽に芸術文化に親しめる環境を整備するため、市民芸術創造センターを創作活動の拠点として充実させるとともに、芸術文化ホールと連携した中ホールの整備について検討します。なお、各地域の文化会館など老朽

化した施設の今後のあり方について検討します。

また、富山市美術展と神通峡美術展について、統合を含め今後のあり方を検討し、より魅力的な美術展の開催を目指すほか、音楽や舞踊などさまざまな文化活動の成果を発表する機会の提供に努めます。

③地域文化を支える人材の育成

地域の芸術文化団体が開催する文化行事に対して支援を行うことにより、地域文化を支える人材の育成に努めます。

また、地域において、子どもたちが芸術と触れ合える機会を提供する活動を支援し、次代の芸術文化を担う人材の育成に努めます。

■市民に期待する役割

- * 音楽や演劇、美術などを鑑賞し、芸術文化に親しむ。
- * 創作活動に関する講座等に参加し、感性を磨き創造力を養う。

- * 芸術文化活動の発表の場でそれぞれの成果を披露する。
- * 伝統的な行事やさまざまな芸術文化活動に参加する。

■総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
市民文化振興事業	(財)富山市民文化事業団へ委託	事業の継続実施
美術展の開催	富山市美術展、神通峡美術展の開催	統合を含めた美術展の開催



まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	3	人・もの・情報が行き交う多彩な交流の促進
施 策	(1)	広域交流の推進・充実

■現状と課題

本格的な少子・超高齢社会が進展する中であって、本市を来訪する人々がもたらす、「もの」、情報及び人々との交流が、地域の活性化を図る上で必要不可欠なものとなっています。

平成26年度末までの北陸新幹線の開業はこうした「人・もの・情報」の交流を一層拡大させる大きな契機となります。

このことから、北陸新幹線の開業を見据え、本市が人々

から訪れたいまち、暮らしたいまちとして選ばれるまちづくりを戦略的に行っていくことが必要となっています。

また、本市では、地域における広域的な交流や地域の活性化を図るため、補助制度を設けて、県外の高等学校・短期大学・大学の合宿を誘致しています。

今後は、これらの交流活動が将来にわたって持続し、発展していくよう、交流の分野を広めるとともに、活動を担う組織や人材の発掘と育成が必要となっています。

■施策の方向

①選ばれるまちづくりの推進

本市が人々から訪れたいまち、暮らしたいまちとして選ばれるために、本市の有する自然、景観、伝統芸能、文化、産業などの豊かかつ多様な資源の保全、整備、育成に努めるとともに、教育や文化、福祉など、バランスの取れた総合力の高い都市づくりを積極的に推進します。

また、都市の魅力を戦略的に情報発信し、本市の認知度や都市イメージの一層の向上に努めるとともに、来訪者受け入れの担い手となる、NPOやボランティアなどの人材の育成を図ることにより、交流人口の増加に努めます。

さらに、団塊の世代や大都市圏等からのIJUターン者の受皿づくりを進め、二地域居住などを含めた定住人口の増加に努めます。

②都市間の連携・交流による魅力の創出

国内外に誇れる魅力に満ちた地域として持続的に発展するため、市民と市内外の人々が民間・行政の枠を超え、経済や教育、文化などさまざまな分野において交流を深め、互いの地域の特性等を認識し、また互いの魅力を組み合わせることで相乗効果が発揮できるよう、連携・協働による広域交流の一層の推進を図ります。

■市民に期待する役割

- *本市の魅力をより深く理解する。
- *地域の活性化に向けた活動に主体的に参画するとともに、市内外の人々や団体などとも積極的に交流する。



まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	3	人・もの・情報が行き交う多彩な交流の促進
施 策	(2)	発展と交流を支える広域交通ネットワークの整備・充実

現状と課題

本市には、JR北陸本線やJR高山本線が整備されており、さらに、北陸新幹線の整備が進められるなど、鉄道交通の利便性の高い都市といえます。

空の玄関口である富山空港については、国内定期路線は2路線が運航されており、また、国際定期路線はソウル、大連、上海の各便に加え、平成23年3月から大連便を延伸し北京便が開設され、アクセス性が向上しています。

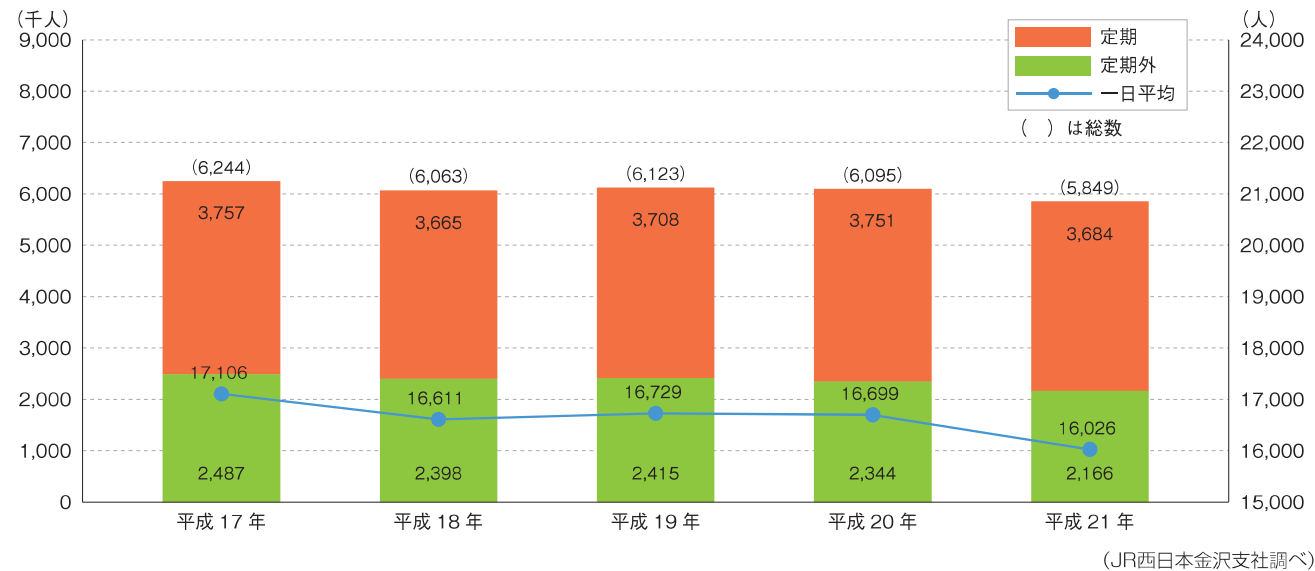
道路については、高速道路として北陸自動車道が整備され、また、地域高規格道路として富山高山連絡道路の

整備も進められており、人や情報の交流、物流などを支える道路整備を促進する必要があります。

富山港については、地域の産業・経済の発展に貢献しており、内外貿易港として港湾機能の向上が求められています。

これらのことから、本市は、陸・海・空の交通の要衝地であるというポジションを生かし、環日本海地域の中核都市として、人・もの・情報の一層の交流を促進する必要があります。

JR 富山駅の輸送状況



平成21年海外渡航者数 (人)

	全国順位	人口千人当りの出国日本人数
福井	23	71.3
石川	25	67.9
富山	29	63.3

(出入国管理統計年報)

富山空港定期便の利用者数 (人)

年度	東京便		札幌便		福岡便	
	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客
19	485,538	483,938	54,672	52,037	12,471	12,975
20	448,219	444,794	50,475	48,244	—	—
21	378,113	377,446	44,218	43,256	—	—

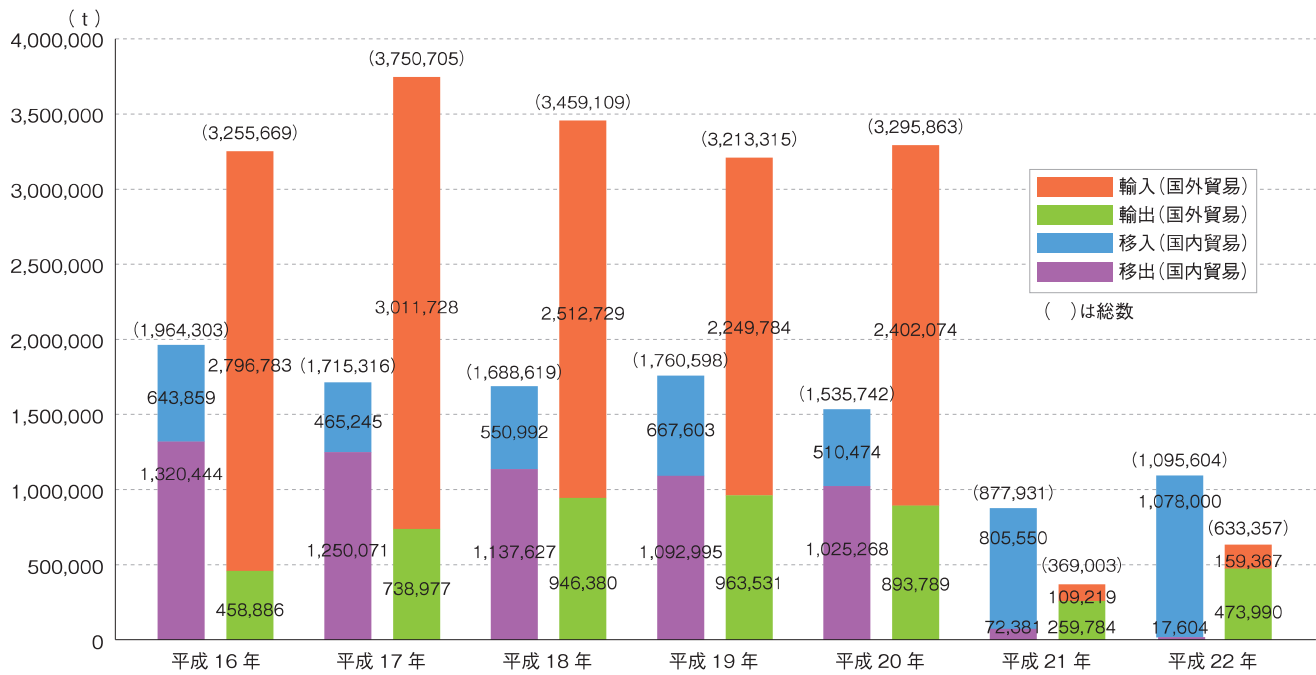
年度	ソウル便		ウラジオストク便		大連便		上海便	
	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客
19	19,422	18,075	2,448	2,403	15,046	14,123	10,826	10,885
20	21,973	21,066	2,227	2,423	11,358	11,080	7,704	7,343
21	15,564	15,431	740	686	10,325	10,792	5,874	6,118

(富山空港管理事務所調べ)

後期基本計画 (各論)

Ⅳ 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

富山港輸移出入貨物の状況



施策の方向

①陸・海・空の広域交通ネットワークの活用

・北陸新幹線の整備促進

北陸新幹線は、北信越地域の飛躍的な発展を図る上で大きな効果をもたらし、本市と大都市圏との交流の活性化を担う柱であるため、全線開通に向けた事業の促進に努めます。

・広域的な道路交通網の充実

地域高規格道路富山高山連絡道路などの広域的な連

携・交流を支える国道及び県道の整備について関係機関に働きかけます。

・空港・港湾の充実

国内外の交流を促進するため、富山空港施設や航空路線の充実を促進するとともに、富山港の港湾機能の向上のため、富山外港や臨港道路の整備を関係機関に働きかけます。

市民に期待する役割

* 恵まれた広域交通ネットワークを活用し、積極的に国内外の人々と交流する。



まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	3	人・もの・情報が行き交う多彩な交流の促進
施 策	(3)	世界とふれあう多様な交流の促進

■現状と課題

国際化の進展に伴って、諸外国との交流を市民一人ひとりの身近な問題として捉え、地域レベル、草の根交流で行うことが重要となっています。

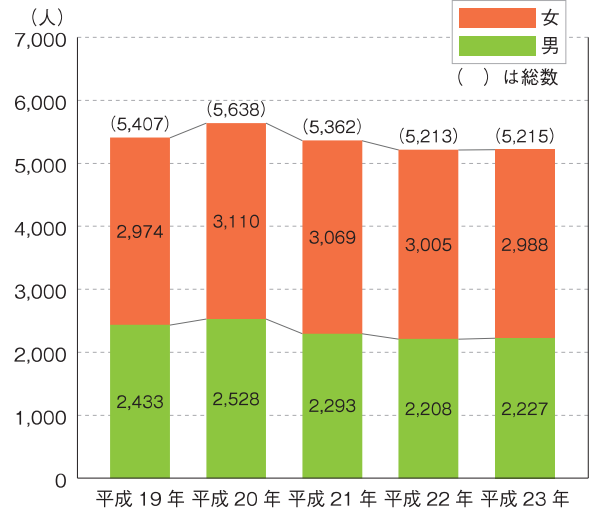
また、社会・経済のグローバル化や地球環境問題への対応など、世界的な視点に立った見方・考え方が求められるようになっていきます。

このことから、他国の文化や社会システム、考え方な

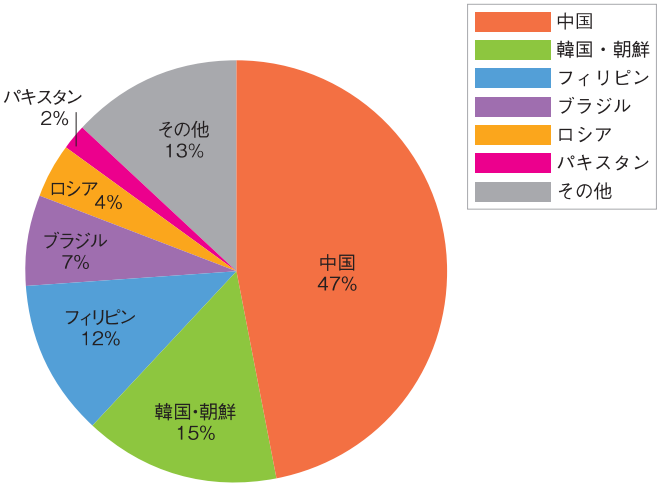
どの理解を深めるため、外国人との交流や実際に訪問する機会の提供などにより、国際感覚豊かな人材を育成する必要があります。

また、本市に居住する或いは本市を訪れる外国人にとって安心して過ごせるまちづくりを進めることにより、市民が主体的に行う交流活動が活性化し、本市の活力につながることを期待されています。

外国人登録者数(各年12月末日現在)



外国人登録者の国別割合(平成23年12月末日現在)



富山市国際交流協会個人会員数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
会員数	514	497	513	558

■施策の方向

①さまざまな国際交流活動への支援

環日本海地域との交流が促進されるよう、国際交流団体や海外に進出している企業などとの連携を図ります。

姉妹・友好都市との交流については、市民の主体的な国際交流活動を支援し、その活動を継続し成果を広く普及させるよう、さまざまな分野における国際交流と国際協力を推進します。

また、広い視野を持ち、国際感覚が豊かな人材を育成するため、富山市民国際交流協会等の関係団体と連携を図るとともに、市民や国際交流ボランティア団体の中核

的な活動拠点として、国際交流センターの機能の充実を図ります。

②外国人がすこししやすいまちづくり

外国人と住民が、互いを尊重し認め合いながら、地域の一員として共に暮らしていくため、多文化共生のまちづくりを推進します。

また、災害時における通訳ボランティアを確保するなど、防災支援体制の整備を図ります。

さらに、外国人が地域活動に積極的に取り組めるよう、よりきめ細かい情報提供や活動支援を行います。

後期基本計画(各論)

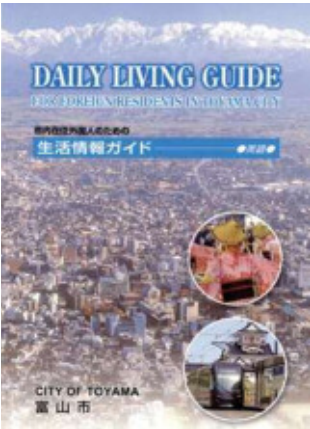
Ⅳ 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

市民に期待する役割

- * 自らの経験を生かして国際交流・国際協力に取り組み、その活動を広げる。
- * 外国人も日本人住民と同様に地域活動などが行えるよう、よりきめ細かい情報提供や活動支援を行う。

総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
姉妹・友好都市提携記念事業	秦皇島市友好訪問団の受入（23年度）	事業の継続実施
中学生国際親善交流事業	姉妹・友好都市などとの中学生の相互交流	事業の継続実施



後期基本計画（各論）

Ⅳ 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	4	新しい価値を創造する活力ある産業の振興
施 策	(1)	とやまの活力を生み出す人づくり

現状と課題

さまざまな産業を支えているのは、熱意と向上心をもって各種サービスや生産活動などに取り組む人材です。今後は、長期的な人口減少傾向を見据えながら、意欲があり、時代とともに高度化・多様化する消費者ニーズに対応できる人材を育成・確保することが重要となっています。

農林業では、従事者の高齢化と後継者不足が進む一方、都市部の住民には、農業体験や農山村での生活に対して関心を持つ人が増えています。

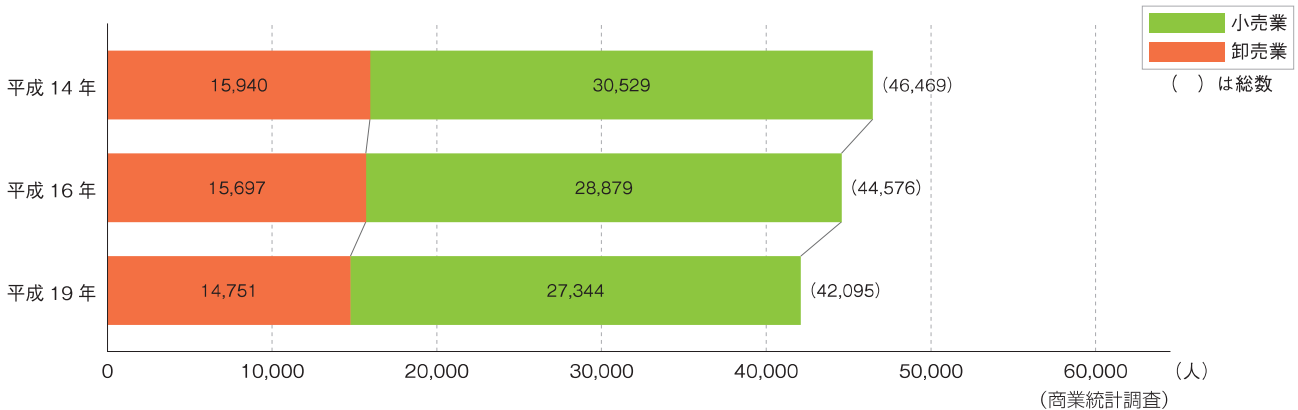
漁業においては、経営の不安定さなどから、従事者が減少・高齢化しており、担い手の育成・確保が必要となっ

ています。

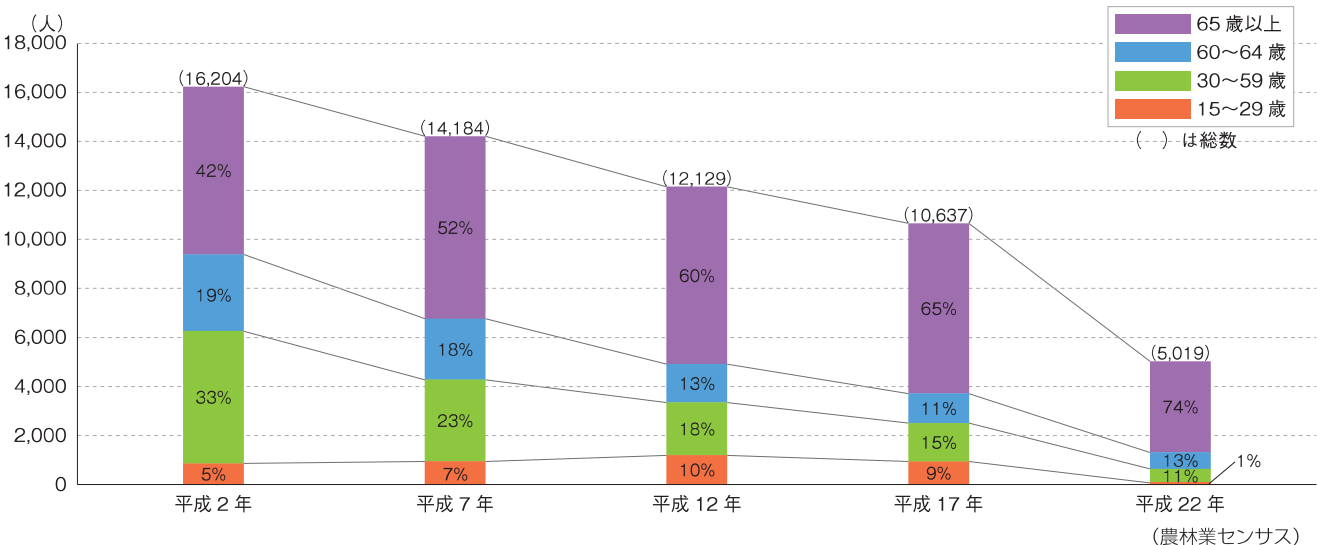
一方、高度なものづくりやIT・デザイン関連の都市型産業の育成を図るため、ハイテク・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスにおいて、起業家を支援するとともに、新産業支援センターにおいても、産学官連携のもと、医薬バイオ・ナノテク・IT・環境などの成長分野における研究開発型ベンチャーを育成しています。

また、各産業を支える新たな人材の育成を図るとともに、新しい産業に取り組む起業家を支援する必要があります。

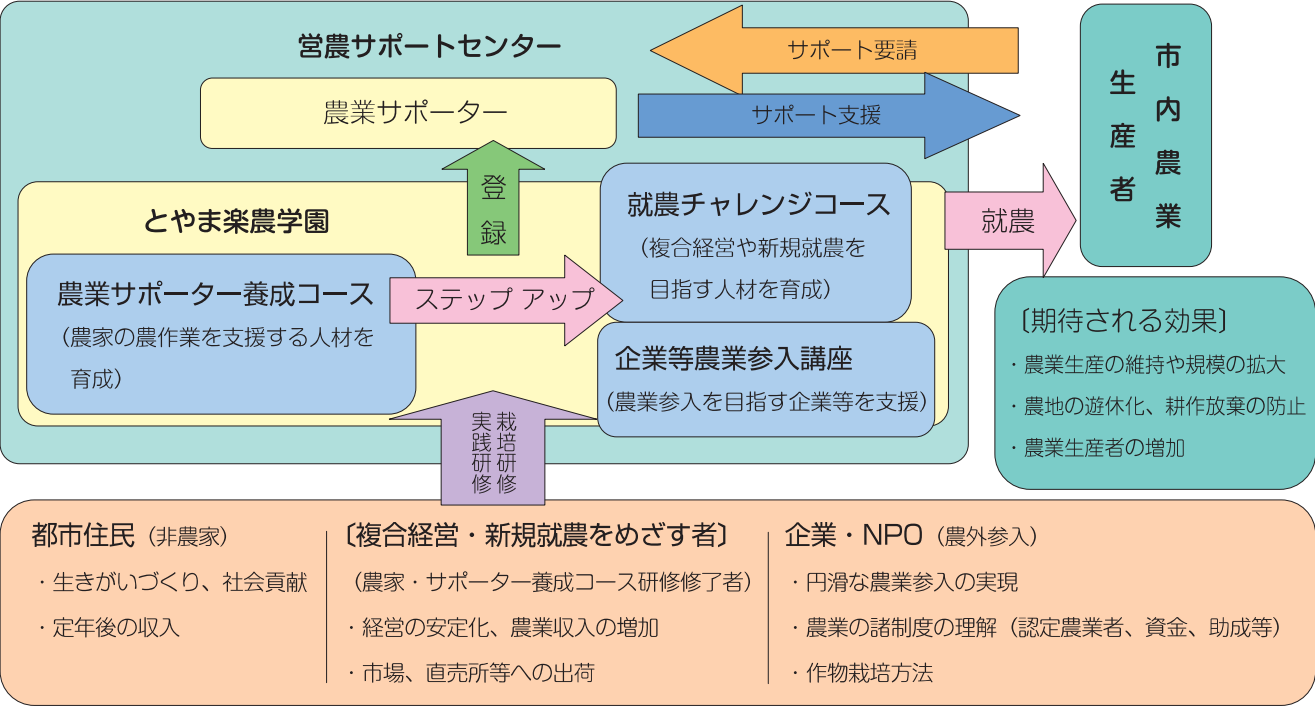
富山市商業の従業員数の推移



農業就業人口と年齢別割合



営農サポートセンター概要



目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
認定農業者等が占める経営面積比率	市内の耕地面積のうち、認定農業者等の経営面積の割合	富山市農林漁業振興計画の目標に基づき、年5%以上の増加を目指す。	29.3% (22年度)	70%
農業サポーター登録者数	営農サポートセンターに登録した農業サポーターの人数	とやま楽農学園の受講者に呼びかけ、約7割の登録者の確保を目指す。	249人 (22年度)	460人
事業所の新規開業率 (再掲IV-4-(3))	経済センサスにおける新規開業率(全産業)	新規開設の事業所数増により新規開業率の増加を目指す。	2.5% (21年)	5%

施策の方向

①各産業を支える人材育成

多様な企業等の連携により、産業を支える人材ネットワークの構築を促進するため、経営者の世代間や異業種間で交流する機会の創出に努めます。

農業については、大規模農家への農地の集積や集落営農の組織化・法人化により経営基盤の安定した経営体の育成に努めるとともに、都市部の住民を対象とした農業サポーター制度の実施により新たな担い手の発掘に努めます。

また、農と食による地域活性化等を目的として、農商

工連携や食農連携ならびに六次産業化など「連携」の取り組みを、各地域を単位に推進することが重要であり、企画力や実行力の高い組織や人材の育成に努めます。

林業については、着実な森林施業を実施するため、森林組合や林業協業体との連携に努めるとともに、新たな担い手として、森林ボランティアの育成に努めます。

漁業については、関係機関等と連携し、担い手の育成・確保に努めます。

さらに、若い世代へ農林漁業の魅力を発信し新規就業機会を創出するため、農山漁村での交流・体験活動推進

に努めます。

②起業者への支援

ハイテク・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスでは高度なものづくりや都市型産業の起業者を育成し、新産業支援センターでは成長分野の研究開発型ベンチャーの育成に努めます。

また、創業者支援資金融資制度による資金面の支援のほか、経済団体と連携を図りながら経営相談・指導などを行うことにより、創業支援に努めます。

創業後も、財団法人新世紀産業機構や商工会議所などの関係機関と連携を図りながら事業経営の支援に努めます。

■市民に期待する役割

* 農業サポーターや森林ボランティアの活動に参加し、担い手不足の農山村の産業を支援する。

■総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
とやま経営実践塾		セミナーの開催
担い手総合支援事業	農用地利用集積事業 農業法人育成事業	事業の継続実施
楽農学園事業	とやま楽農学園での栽培技術研修など	事業の継続実施



後期基本計画（各論）
IV 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	4	新しい価値を創造する活力ある産業の振興
施 策	(2)	とやまの魅力と活力を築くものづくり・しくみづくり

現状と課題

本市の工業は、豊富な電力、水資源と勤勉な労働力を背景としながら、医薬品等の化学工業をはじめ一般機械、電子部品などの製造業を中心に、その優れた技術と事業所の集積により日本海側有数の工業都市として発展してきましたが、近年は産業構造や経済環境が激しく変化するなか、設備の高度化や優れた人材の育成・確保などによる経営基盤の強化や、独創的な新技術・新商品の開発などによる経営革新が必要となっていることから、新産業・新事業の更なる育成に取り組んでいく必要があります。

また、ハード面では富山地域の15事業所へ工業用水を供給している流杉浄水場の工業用水道施設の老朽化が進んでいることから、その更新が課題となっています。

一方、本市の農漁業は、兼業率が高く担い手も高齢化していることから、低コスト化と省力化を図るとともに、地域社会を維持しながら将来に持続できる環境保全に配慮した生産活動などを一層推進することが必要となっています。

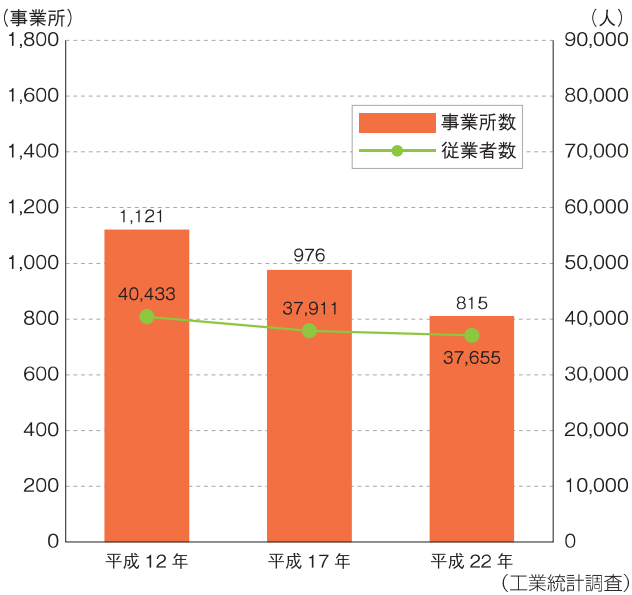
また、農業従事者の高齢化や減少が進み、農業用水路の維持管理が難しくなっており、地域の生活環境を保全するため水路改修への対応も必要となっています。

本市の林業は、山村地域の過疎化・高齢化の進展による後継者不足や長期的な木材価格の低迷などの課題があり、今後、効率化、安定化を図り持続可能な林業経営を展開するため、造林・保育や素材生産の費用削減などの低コスト化や、放置が進む人工林の計画的な間伐を推進し、品質の向上に努めることが必要となっています。

地域の顔である商店街については、郊外型大型店との競合やインターネット販売の拡大、後継者不足など、厳しい環境にあるとともに、北陸新幹線をはじめとする公共交通網が整備される中、商業者自らの意識改革を進め、魅力ある商業空間をどのように創出し、賑わいを取り戻していくかが課題となっています。

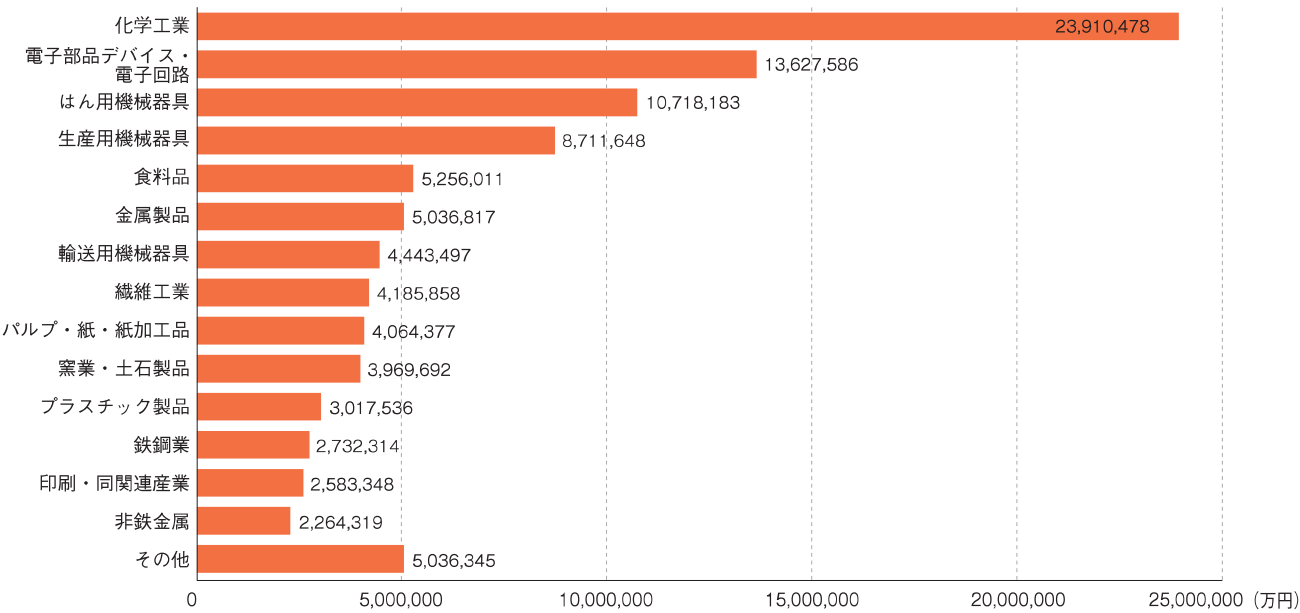
地域の社会的課題の解決を目的とするソーシャルビジネスやコミュニティビジネスへの関心が高まっていることから、社会問題の解決に向けた商業者への取り組みを支援する必要があります。

富山市工業の事業所数、従業者数の推移
(従業者4人以上の事業所)

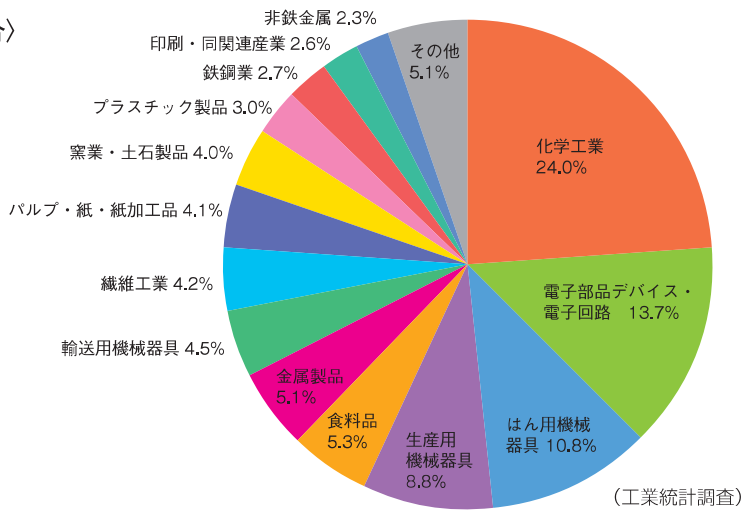


平成22年産業中分類製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)

〈製造品出荷額〉計 99,558,009万円



〈割合〉



後期基本計画(各論)

IV 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

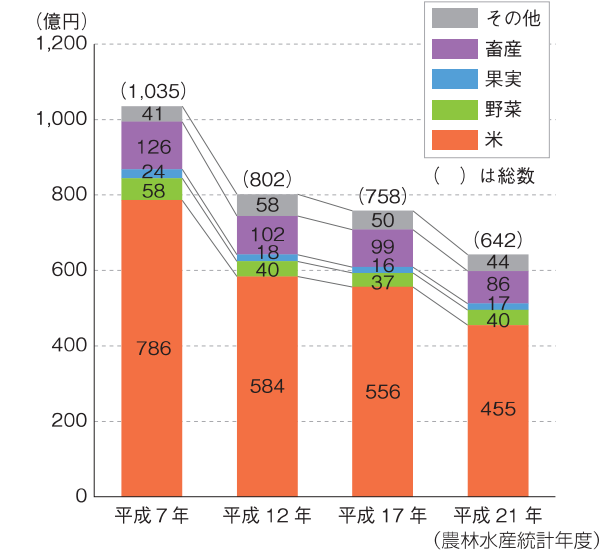
富山市商業の事業所数

(事業所)

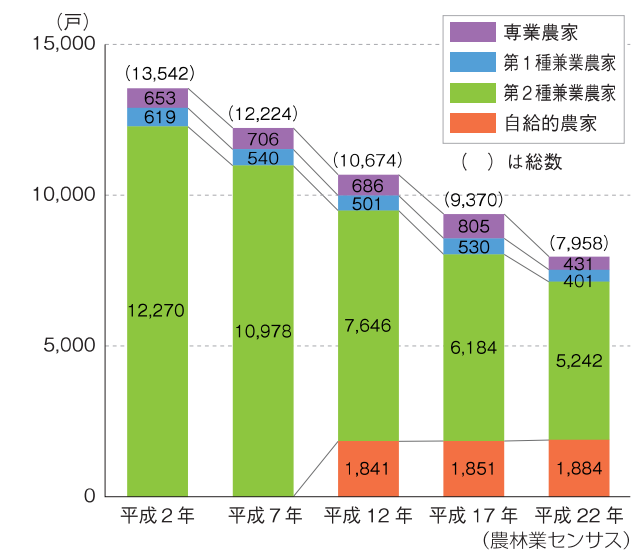
	総数			卸売業			小売業		
	平成14年	平成16年	平成19年	平成14年	平成16年	平成19年	平成14年	平成16年	平成19年
富山市	7,025	6,716	6,196	1,719	1,757	1,618	5,306	4,959	4,578
富山地域	6,049	5,797	5,345	1,641	1,675	1,542	4,408	4,122	3,803
大沢野地域	192	178	159	13	16	10	179	162	149
大山地域	90	85	76	5	7	6	85	78	70
八尾地域	291	288	244	24	26	22	267	262	222
婦中地域	361	326	333	34	30	35	327	296	298
山田地域	14	10	10	1	1	1	13	9	9
細入地域	28	32	29	1	2	2	27	30	27

(商業統計調査)

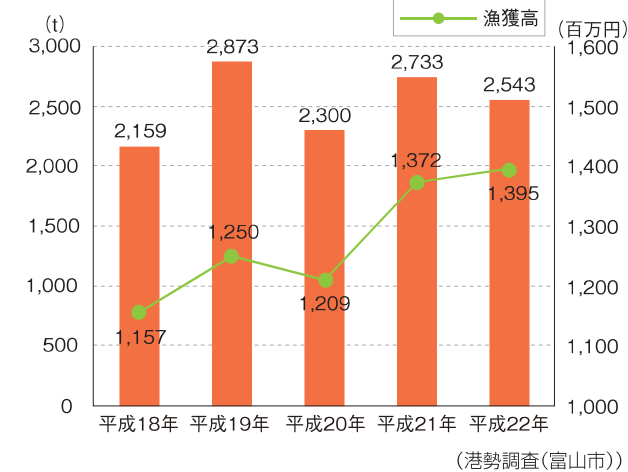
部門別農業産出額(富山県)



農家数の推移(富山市)



漁獲量及び漁獲高(富山市)



平成22年林産物素材生産量

都道府県	全国順位	素材生産量(千m³)
全国計	—	17,193
石川県	33	130
福井県	37	92
富山県	41	50

目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
製造品出荷額等	工業統計における従業員4人以上の事業所の年間製造品出荷額等	産業の振興を図り、年平均2.2%程度の増加を目指す。	9,956億円(22年)	11,300億円
転作面積にかかる出荷大豆・麦、出荷野菜等の栽培面積率	富山市の転作面積(水稻を作付けしない地目が田の面積)のうち、出荷大豆・麦・野菜の栽培面積の割合	調整水田などから大豆・麦・野菜等の栽培に毎年53haずつ移行を目指す。	26.9%(22年度)	30%
地域材使用量	市内産材が住宅建材やチップ・ペレット等に活用された量	地域材の活用促進に努め、毎年500m³の使用量の増加を目指す。	8,500m³(22年度)	11,000m³
年間漁獲量	港勢調査による水橋、岩瀬、四方地区の水揚量	放流事業などの推進により、毎年約1%の増加を目指す。	2,518t(16～22年の平均)	2,640t

後期基本計画(名論)

IV 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
認定農業者等が占める経営面積比率 (再掲IV-4-(1))	市内の耕地面積のうち、認定農業者等の経営面積の割合	富山市農林漁業振興計画の目標に基づき、年5%以上の増加を目指す。	29.3% (22年度)	70%
森林整備面積 (再掲II-4-(1))	人工林及び里山林の整備面積 (市民等による里山整備面積を除く)	人工林の間伐等を図ることにより、約1割増を目指す。	220ha (22年度)	250ha

■施策の方向

①商工業等の振興

社会・経済情勢が目まぐるしく変化する中、工業都市としての産業基盤をさらに発展させ、地域経済の活性化と雇用機会の確保を図るため、本市の工業振興施策の指針として策定した工業振興ビジョンの着実な推進に努めるとともに、経済情勢や経営環境等の変化に柔軟に対応した見直しを図ります。

また、富山地域の15事業所へ工業用水を供給している流杉浄水場の工業用水道施設の老朽化が進んでいることから、その更新について検討します。

さらに、北陸新幹線の開業を見据え、今後の商業振興策の指針となる商業振興活性化プランを策定し、事業者が行う自立的な活性化策の検討や基盤強化など、経済団体、商店街団体、行政等の連携による商業活性化に努めます。

②中小企業の経営基盤安定・強化への支援

中小企業の経営基盤の安定・強化においては、金融・経営指導の両面にわたる対策の強化が必要であることから、景気動向や中小企業者のニーズを的確に捉えながら、中小企業向け融資制度や経済団体など関係機関との連携により、経営指導・経営相談の充実や有益な情報の収集・提供に努めます。

また、新たな設備投資に対する助成を行うなど、新分野・新事業への進出を支援します。

③地域に根ざした農林漁業への支援

・農業基盤の整備

農業生産基盤を整備するため、生産体制の組織化や、農業用機械・施設の共同利用、直播栽培の推進など低コスト化、省力化に対する取り組みに加え、水田農業の生産工程を分業・専門化する分業共益農業を推進します。

・農産物の生産拡大

農業経営の安定化のため、米の計画的生産により水稲を作付けしない水田に大豆・麦・野菜の栽培を推進するとともに、果樹や花きの生産量の拡大に努めます。また、環境にやさしい農業を推進するとともに、地域

ごとに特色ある農産物の産地化を推進します。

・農産物の高付加価値化及び販路拡大

地場産品をPRする拠点を設置し、それぞれのネットワーク化を図るとともに、農林漁業の六次産業化や農商工の産業間の連携による新商品の開発を推進し、農産加工品等の効果的な生産販売を支援します。

また、良質で特色ある地域農産物を県内外へPRし、認知度の向上と販路拡大に努めます。

・農村環境の保全

地域の生活環境を改善するため、排水路の整備や改修を推進するとともに、通年通水を行うなど農業用水路が持つ多面的機能を利用し快適な居住環境の保全に努めます。

また、農業者に限らず、地域のコミュニティを活性化させ、地域力を高めることで、中山間地域の環境保全と活力の維持に努めます。

・持続可能な林業経営の展開

林業経営の安定化のために、林道や作業道、高性能林業機械などの施設整備を行い、効率的な森林施業を推進するとともに、市内産材の住宅建材への需要の拡大や間伐材の木質ペレット等への活用など、地域材の活用促進に努めます。

・漁業基盤の整備

安全で円滑な操業環境を整備するため、護岸や防波堤などの漁港施設の適正な管理を図るとともに、漁業者や地域住民の憩いの場として親しまれる漁港環境の改善に努めます。

また、漁業資源が将来にわたって枯渇しないよう、資源管理型漁業を推進し、源流から海まで一体となった漁業資源の確保に努めます。

④商店街の活性化

・中心商店街の活性化

中心市街地活性化の鍵となる中心市街地の商店街は、郊外大型店舗では出来ない、きめ細かな顧客サービスや、時代に合った選り抜かれた商品の販売などにより、顧客の心を引き付ける商業空間を創造することが必要

であることから、やる気のある商店街等が行う魅力向上を図る取り組みに対し支援します。

また、商店街への来街者の滞留時間の延長を図るため、賑わい拠点の創出に努めます。

・地域商店街の活性化

地域商店街は、生きた情報に出会うことが出来るコミュニティの場として重要であることから、やる気のある商店街等が行う、活性化と賑わいづくりに向けた、地域の特性を生かした個性ある取り組みに対し支援します。

⑤コミュニティビジネスへの支援

社会的課題の解決を目的とするソーシャルビジネスや

コミュニティビジネスへの関心が高まっていることから、社会問題の解決に向けた取り組みを行う、商業者団体などの支援に努めます。



市民に期待する役割

- *生産者は、安全・安心な地場産品の供給拡大と新商品の開発販売に努める。
- *消費者は、地場産品についての理解を深め、購入に努める。
- *地域材についての理解を深め、燃料としての利用や建築資材としての活用などに努める。
- *生活用品、食料品は、なるべく地元の商店、スーパーで購入するよう努める。
- *商店街で商売している個店は、地域社会の中心として地域貢献に努めるとともに、魅力ある商業空間の形成に努める。
- *地域コミュニティの大切さを認識し、社会問題に対する理解を深め、住民相互の助け合いに取り組む。

総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）
商業振興活性化プラン策定事業	プラン策定（各種調査）	プラン策定
工業振興ビジョンの改訂	第一次改訂	第二次改訂
富山とれたてネットワーク事業	地場もん屋総本店の設置・運営 地場もん屋地域店のPR 地産地消広報PR	地場もん屋総本店の運営 地産地消広報PR 富山とれたてネットワーク推進
農商工連携推進事業	農商工連携シーズ調査	六次産業化計画策定支援 販路拡大支援
集落営農促進対策事業	集落営農組織の育成・強化に係る農業用機械等の導入支援20箇所 条件不利地域における小規模集落営農の組織化及び農業用機械施設の導入支援1箇所	集落営農組織の育成・強化に係る農業用機械等の導入支援15箇所 生産調整面積の大幅拡大に対応するために必要な農業用機械の導入支援20箇所 市単独事業による支援15箇所
漁業基盤整備事業	漁港施設の長寿命化や更新コストの平準化・縮減を図るための保全計画作成	四方漁港、水橋漁港の漁港施設保全・更新工事
農業環境対策事業（再掲Ⅱ-2-(3)）	整備延長71.3km	2.5km（整備延長73.8km）
森林整備事業（再掲Ⅱ-4-(1)）	森林整備面積207ha／年間	森林整備面積250ha／年間
地域材活用促進事業（再掲Ⅱ-4-(1)）	地域材使用住宅への補助の実施71件 市内産材活用PR活動補助6件 代替エネルギー用材搬出促進補助	市内産材活用PR活動補助6件／年 代替エネルギー用材搬出促進補助

まちづくりの目標	Ⅳ	個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
政 策	4	新しい価値を創造する活力ある産業の振興
施 策	(3)	とやまの未来を拓く新産業・新事業の創造

■現状と課題

本市は、医薬品や機械部品、電気機械などの製造業を中心とした産業集積を背景に技術や人材が豊富であり、さらに、大学や産業支援機関が集積しており研究成果のビジネス化が期待されるなど、新産業の育成に適した基盤を有しています。

そのような中、新産業支援センターを拠点として、産学官連携により大学等の優れた研究成果の事業化を支援するなど、創業者やベンチャー企業などの育成に取り組んでいますが、本市の創業者支援施設入居者の中には、限られた経営資源の中、十分な成長を遂げられなかったり、新しい技術の導入や新分野への進出に踏み切れないという状況が見受けられるほか、事業を拡張する場合においても、条件に合うような工場用地が少ないなどのミスマッチも存在しています。

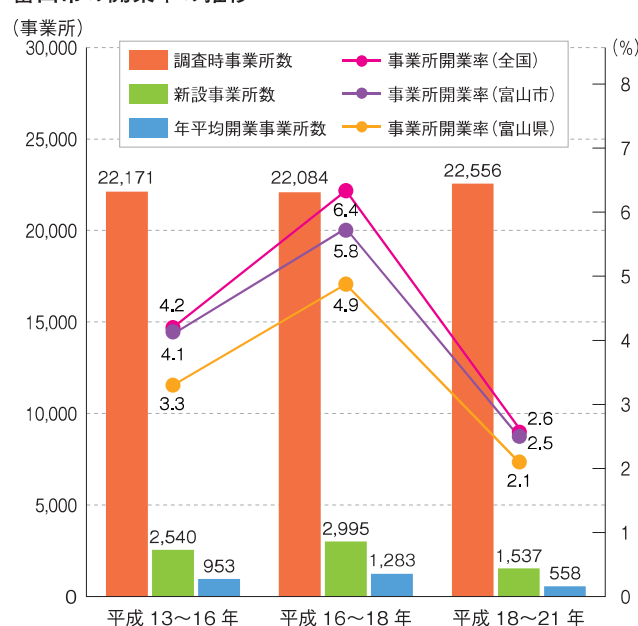
本市では企業団地の造成等により、多くの企業が立地していますが、今後さらに、新たな研究開発に取り組む個性的な企業の誘致を推進するなど、新しい価値を生み出す新事業の創出に向けた取り組みが重要となっています。

また、進出企業への立地支援の強化と既存企業も含めたアフターフォローの充実など、「面倒見のよい市」を目指す。

指したサービス体制の推進も今後ますます重要となっています。

さらに、必要に応じて、新しい企業団地の整備にも取り組んでいく必要があります。

富山市の開業率の推移



企業団地・卸商業団地一覧

(平成24年1月1日現在)

団 地 名	設立	所 在 地	面積 (㎡)	企業数
富山機械工業センター(協)	昭和35	新庄本町、向新庄町	119,572	21
(協)富山問屋センター	昭和37	問屋町	207,609	43
富山市第二機械工業センター(協)	昭和42	古寺、流杉	65,535	12
富山市第三機械工業センター(協)	昭和44	水橋伊勢屋	108,330	7
富山企業団地(協)	昭和48	三郷	295,278	32
(協)富山トラック輸送センター	昭和52	上野	24,844	21
富山流通団地(協)	昭和55	八日町	43,844	19
(協)とやまオムニパーク	昭和60	南央町	130,555	19
富山市ハイテク・ミニ企業団地	平成 2	今市	18,210	25
四方テクニカルパーク	平成 3	四方荒屋	44,825	21
草島工業団地	平成 6	草島	78,825	12
水橋リバーサイドパーク	平成 6	水橋肘崎、水橋市田袋	138,960	10
上条工業団地	平成 7	水橋石割、水橋田伏、水橋北馬場	135,446	6
金屋企業団地	平成11	金屋	254,463	29
呉羽南部企業団地	平成20	境野新、北押川、池多	260,198	15
熊野北部企業団地	平成22	小中	39,603	2
大沢野機械工業センター(協)	昭和35	高内	95,300	6
中大久保企業団地	平成 3	中大久保	189,474	19
大沢野西部企業団地	平成21	西塩野、加納	23,980	1
八尾機械工業センター(協)	昭和35	八尾町福島	33,275	6
富山八尾中核工業団地	昭和60	八尾町保内	1,937,314	31
婦中機械工業センター(協)	昭和45	婦中町千里	140,219	5
婦中鉄工業団地(協)	昭和45	婦中町菰島	90,812	12
宮野工業団地(協)	昭和50	婦中町下井沢、広田	176,000	5
婦中町臨空工業団地	昭和60	婦中町増田、板倉、添島	375,000	9
婦中企業団地(第1期)	平成元	婦中町中名、道場	62,840	16
婦中企業団地(第2期)	平成 5	婦中町道場、下井沢	252,458	9
富山イノベーションパーク	平成10	婦中町島本郷	191,901	12
西本郷企業団地	平成18	婦中町西本郷	79,640	14

目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
事業所の新規開業率	経済センサスにおける新規開業率(全産業)	新規開設の事業所数増により新規開業率の増加を目指す。	2.5% (21年)	5%
新規事業所開設による雇用者数	経済センサスにおける新設事業所の年平均就業者数(全産業)	新規事業所の開設を推進し、約20%の増加を目指す。	4,485人 (18～21年の平均)	5,400人

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値(年度等)	28年度目標数値
創業支援施設卒業企業数	本市の3箇所の創業者支援施設における年度平均卒業企業数(富山市ハイテク・ミニ企業団地、とやまインキュベータ・オフィス、富山市新産業支援センター)	入居企業への支援を強化することにより、独立開業数の増加を目指す。	4.6社 (20～22年度平均)	5社
企業団地への入居率	市で造成した企業団地の入居率	既存の企業団地の入居率100%を目指す。	呉羽南部企業団地87.3% (23年度)	呉羽南部企業団地100%

施策の方向

①新たな産業の育成

レンタルラボなどを備えた新産業支援センターにおいて、大学や産業支援機関などの関係機関と連携しながら、医薬バイオ・ナノテク・IT・環境など成長分野の研究開発型ベンチャーの育成に努めます。

また、このセンターを拠点として、ハイテク・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスと連携を図りながら、高度なものづくりやIT・デザイン関連の都市型産業の育成に努めるとともに、経営課題の克服や異業種交流による事業拡大、新分野・新事業進出など、創業者支援施設入居者の独立開業(第2創業)に向けた支援に努めます。

さらに、ベンチャー企業等の研究開発や事業化の各段階における経営課題の解決を支援するため、財富山県新世紀産業機構などと連携し、融資制度・公的支援の相談情報提供を行うとともに、技術や製品の販路開拓を支援します。

②企業立地の促進

雇用機会の創出と地域経済の活性化を図るため、先端技術企業や研究開発型企業等の誘致に努めるとともに、進出企業への立地支援の強化と既存企業も含めたアフターフォローの充実など、サービス体制の強化に努めます。

また、新たな企業団地の整備にも取り組み、日本海側屈指の工業集積や、交通・コンテナ航路などの流通面での利便性、さらには災害が少なく、恵まれた自然環境にあること等を前面に出し、本市への立地を促進します。



市民に期待する役割

* 知識や技能等を生かして、新たな事業に取り組む。

総合計画事業概要

事業名	平成23年度末現況	事業の概要(24～28年度)
企業団地造成事業	呉羽南部企業団地等の造成	新たな企業団地の造成